授業概要

授業のタイトル(科目名) 医学概論		授業の種類 通信		授業担当者
授業の回数	時間数 90	配当学年・時期 1学年	必修・選択 必修	
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人のライフステージにおける心身の変化と健康課題について理解する。 2. 健康と疾病の捉え方について理解する。 3. 人の身体構造と心身機能について理解する。 4. 疾病と障害の成り立ち及び回復過程について理解する。 5. 公衆衛生の観点から、人々の健康に影響を及ぼす要因や健康課題を解決するための対策を理解する。 <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>多様化・複雑化している社会福祉ニーズに対応できるよう、人の成長・発達や心身機能と身体構造の概要について学ぶ。国際生活機能分類(ICF)の基本的考え方と概要、健康の概念について理解し、ライフステージにおける課題や公衆衛生の観点など多面的に理解する。疾病と障害の概要及びリハビリテーションの概念と範囲について理解する。</p> <p>[授業修了時の達成課題(到達目標)]</p> <p>授業の目的・ねらいが理解されている。社会福祉士として求められる知識として、疾病や障害及びリハビリテーションに関する理解が深められている。</p>				
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>ライフステージにおける心身の変化と健康課題</u> (心身の加齢、老化、ライフステージ別の健康課題) ・ <u>健康および疾病の捉え方</u> (健康、疾病の概念、国際生活機能分類ICFの考え方) ・ <u>身体構造と心身機能</u> (人体部位の名称、各器官の役割) ・ <u>疾病と障害の成り立ちと回復過程</u> (疾病の発生原因、病変の成立機序) ・ <u>リハビリテーションの概要と範囲 ①</u> (リハビリテーションの定義と目的) ・ <u>リハビリテーションの概要と範囲 ②</u> (リハビリテーションの対象と方法) ・ <u>疾病と障害の予防・治療・予後・リハビリテーション①</u> (感染症、神経疾患、認知症、高次脳機能障害、脳血管疾患) ・ <u>疾病と障害の予防・治療・予後・リハビリテーション②</u> (心疾患、内分泌・代謝疾患、呼吸器疾患、腎・泌尿器疾患) ・ <u>疾病と障害の予防・治療・予後・リハビリテーション③</u> (消化器・肝胆膵疾患、骨・関節、血液・免疫・アレルギー疾患) ・ <u>疾病と障害の予防・治療・予後・リハビリテーション④</u> (眼科疾患・視覚障害、耳鼻咽喉疾患・聴覚障害) ・ <u>疾病と障害の予防・治療・予後・リハビリテーション⑤</u> (平衡機能障害、口腔疾患、婦人科・産科、精神疾患) ・ <u>疾病と障害の予防・治療・予後・リハビリテーション⑥</u> (精神障害、発達障害、小児科疾患、肢体不自由、知的障害) ・ <u>疾病と障害の予防・治療・予後・リハビリテーション⑦</u> (高齢者に多い疾患、生活習慣病、内部障害、悪性腫瘍) ・ <u>公衆衛生</u> (公衆衛生の定義、健康増進と保健医療対策) ・ 課題提出 				
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>中央法規出版 最新 社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座 「1 医学概論」</p>		<p>[成績判定基準]</p> <p>(試験やレポートの評価基準など)</p> <p>提出課題により評価する。60点以上を合格とする。</p>		